

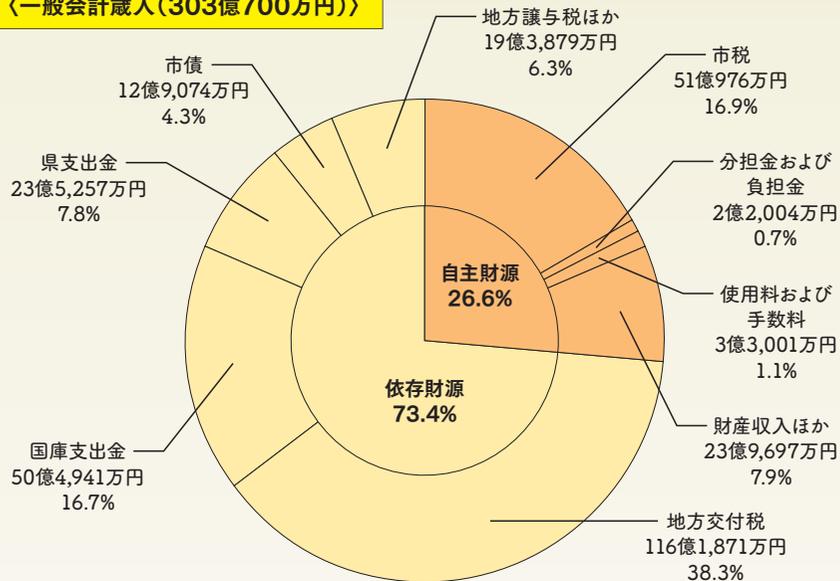
令和6年度の当初予算の概要をお知らせします

令和6年度一般会計予算額は、**303億700万円**で令和5年度から**1億7,000万円**の減額となり、過去10年で最小の予算規模となりました。

令和6年度は、近年で最も公債費が高くなる見込みであり、財政運営が非常に厳しい状況にあります。市民生活を支える行政サービスの水準の確保を最優先としつつ、持続可能な財政運営を目指し、予算編成を行いました。



〈一般会計歳入(303億700万円)〉



歳入の種類は大きく分けて「自主財源」と「依存財源」の2つに分かれます。「自主財源」は市が自主的に集められるお金で、「依存財源」は国や県から入ってくるお金です。

◆市税(前年度比△5,620万円)

【個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税、入湯税】

★定額減税の影響が大きく、前年度比1.1%の減少が見込まれます。

◆市債(前年度比△4億4,900万円)

【市が主に建設事業等を行う際の市の借入金】

★建設事業等の見直しにより、前年度比25.8%の減となります。

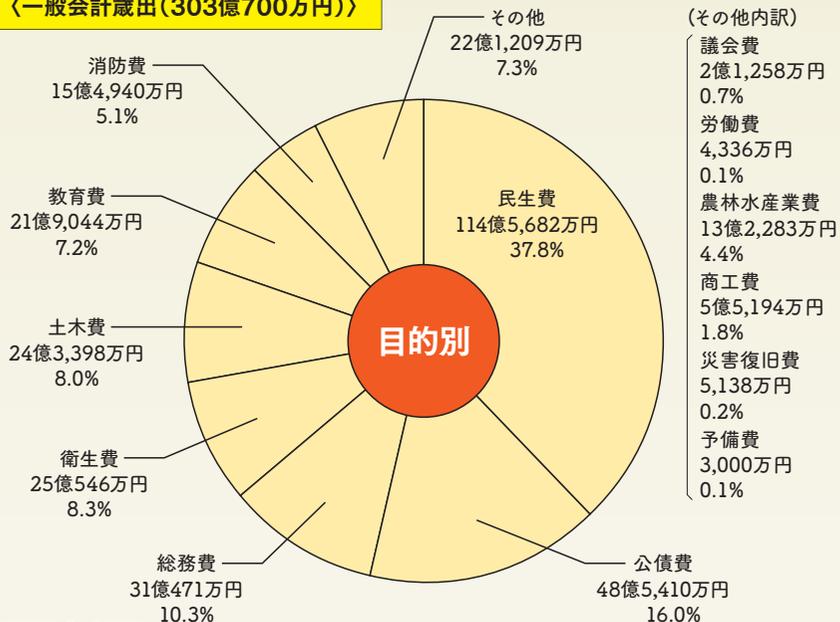
◆地方交付税

(前年度比+2億640万円)

【国が市町村に交付する普通交付税、特別交付税】

★普通交付税は、新たな算定費目として「こども子育て費」の創設などにより、地方財政計画において前年度比1.7%の増と示されており、市では前年度比2.4%の増と見込んでいます。一方、特別交付税は、これまで大雨災害や豪雨に係る経費の配分が大きかったものの、令和6年度は減少するものとし、前年度比3.4%の減と見込んでいます。

〈一般会計歳出(303億700万円)〉



(その他内訳)

- 議会費 2億1,258万円 0.7%
- 労働費 4,336万円 0.1%
- 農林水産業費 13億2,283万円 4.4%
- 商工費 5億5,194万円 1.8%
- 災害復旧費 5,138万円 0.2%
- 予備費 3,000万円 0.1%



歳出は、目的別(行政分野に対する経費の配分が分かるもの)と性質別(構造の特色が分かるもの)に分けて分析できますが、ここでは目的別に分類した歳出について説明します。

◆民生費(前年度比△1億5,260万円)

【児童手当、生活保護など福祉サービスに係る経費】

★生活保護費などは前年度よりも増と見込む一方、施設型給付費給付事業などの減により、前年度比1.3%の減となっています。

◆公債費(前年度比+2億5,570万円)

【市債の元利支払いに係る経費】

★過去に借り入れた地方債の「長期償還元金」が2億4,060万円の増、「長期償還利子」は1,500万円の増、前年度比5.6%の増となっています。

◆総務費(前年度比△2億6,960万円)

【庁舎やコミュニティセンターの管理、広報、選挙などに係る経費】

★令和5年度に日本庁舎解体事業の終了や協元避難所の建物本体の完成により、前年度比8%の減となっています。

◆衛生費(前年度比△1億2,420万円)

【医療や健康推進、環境対策などに係る経費】

★西北五環境整備事務組合負担金やつがる西北五広域連合負担金の減により、前年度比4.7%の減となっています。

◆教育費(前年度比+4,130万円)

【学校、公民館、図書館、給食センターなどの管理運営に係る経費】

★小学校屋上改修事業の完了など減要因もあるものの、教科書指導書整備事業や小学校通学バス運行事業の増により、前年度比1.9%の増となっています。

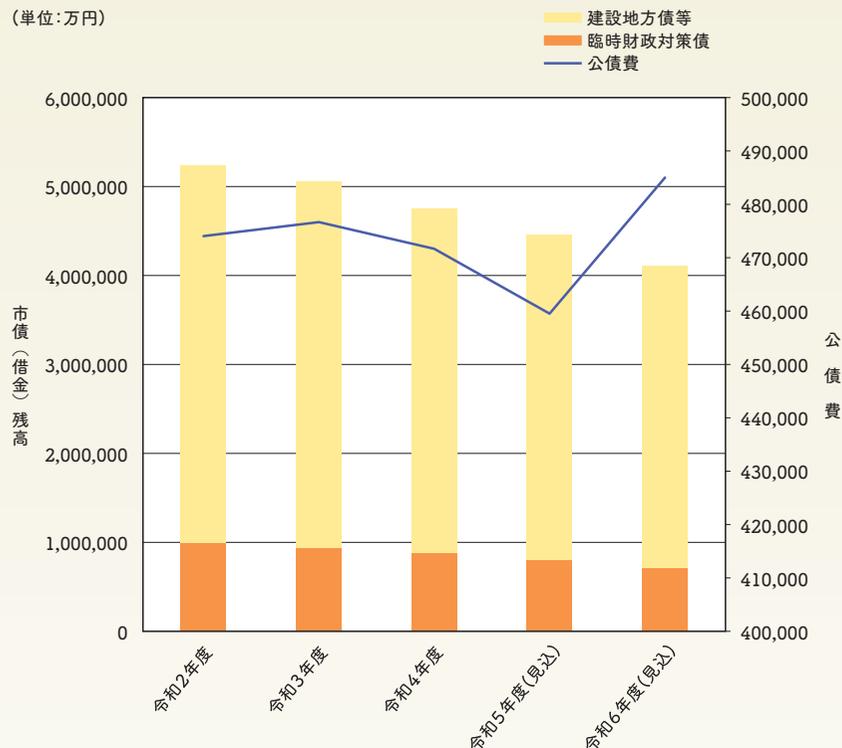
◆商工費(前年度比+1億2,290万円)

【商工業や観光振興に係る経費】

★立佞武多の館の老朽化に伴う大規模改修事業の実設計などにより、前年度比28.7%の増となっています。

市債（借金）残高および公債費の推移

（単位：万円）



棒グラフで示されたものが、その年度末時点での市の借金残高を表しています。折れ線グラフで示された公債費が、その年度に返さなければならない借金の金額です。

まず、市の借金残高の推移をみると、緩やかではありますが、年々減少しています。これは、建設事業を抑制したことで、その年に借りるお金よりも返すお金の方が多くなってきているからです。

次に、公債費の推移をみると、令和3年度から令和5年度にかけて年々減少していましたが、令和6年度は令和2年度以降で最も高くなっています。

これは、過去に行った一般廃棄物最終処分場建設事業などの借金の元金支払いが令和6年度に始まり、支払うお金が増加したためです。

令和6年度から令和8年度頃まで公債費は高止まりする見込みですが、地方債（借金）の発行額を抑え、着実に借金残高を減らし、持続可能な財政運営を目指します。

立佞武多の館のリニューアル

続いては、令和6年度の
主な事業を紹介！



◎立佞武多の館大規模改修事業

建築後約20年を経過し、老朽化した立佞武多の館について、大規模改修を実施するための設計等に係る経費。大規模改修により長寿命化を図るとともに、新たな観光・市民の交流の拠点施設として再生させ、さらなるにぎわい創出を目指します。

1億3,370万円



まつり、イベントを通じた 経済の活性化

◎子どもフェスティバル開催事業

休日に親子で出かけることができる場所を求める子育て世代からの声に応えるため、子育て支援団体等で組織する実行委員会が開催する子どもを対象としたイベントの開催費用を補助します。

320万円

◎まつり開催補助金

「五所川原立佞武多」「金木桜まつり」「津軽三味線全日本金木大会・仁太坊まつり」等の主催者に対し、事業に要する経費の一部を補助します。

4,804万円

人口減少社会に対応した 公共施設の適正化

◎学校再編事業

市浦小・中学校併置のため、市浦小学校校舎を改修します。令和6年度は、アスベスト調査および設計を行います。

938万円

◎公営住宅建替事業

五所川原市市営住宅長寿命化計画に基づき、老朽化した芦野団地を現地建替えし、近隣の老朽化した雲雀ヶ丘団地を解体します。令和6年度は2棟4戸を整備予定です。

1億7,008万円

生活交通の確保

◎地域公共交通活性化事業

人口構造の変化による交通需要の多様化に対応するため、既存のバス路線を見直すとともに、令和6年度から予約型乗合タクシーを毘沙門地区にも拡大し、交通空白エリアの解消を図ります。

また、市浦地域、金木地域および五所川原地域を結ぶバス路線の利用者補助を行うことで、民間路線を活用した各地域の住民の生活の足を確保します。

1,249万円

防災・減災対策の強化

◎脇元避難所整備事業

脇元地区で津波が発生した際の住民の命と安全確保のため、高台（金木高校市浦分校跡地）に建設した脇元コミュニティセンターの外構工事を行います。

2,046万円

農業者の経営基盤の安定化

◎施設園芸への参入心援事業

施設園芸の新規参入または規模拡大を促し、農業者の収入の安定化および向上を図るために、農業用ハウスの導入に係る資材費やハウスの付帯設備の導入経費の一部を助成します。

315万円



予算概要や主な事業の詳細は、
市ホームページを
確認してね！



財政課HP：
<https://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/zaisei.html>